

平成30年度 6月定例教育委員会議事録

1. 日 時 平成30年6月25日(月) 13:30~16:15
2. 場 所 コミセンおの 205号室
3. 出席者 教育長 陰山 茂
教育委員 西村賢一・河嶋栄里子・藤本真理
事務局 橋本教育管理部長・小西教育指導部長
上原教育総務課長・松田いきいき社会創造課長
駒田スポーツ振興課長・教育総務課 谷口

4. 会議内容

- (1) 開会あいさつ 教育長
- (2) 前回議事録確認 全委員一致で承認

(3) 議題

議題第11号 小野市立図書館協議会委員の委嘱について(いきいき社会創造課)

小野市立図書館の設置及び管理に関する条例第5条に基づき、小野市立図書館協議会委員(新任3名、再任6名の計9名)の委嘱について、承認を求める。

(承認を得る。)

(4) 報告事項

各課長より資料により主要事業の進捗状況及び情報の説明を行い、教育委員の意見を聞く。

①教員の「働き方改革」について(学校教育課)

- ・3ノーデー(ノー残業・ノー会議・ノー部活)については、小野市全体で取り組んでおります。
- ・夏季休業期間の閉庁日については、8月11日(土)から15日(水)までの5日間を閉庁日とし、保護者にもPRしています。
- ・午後6時から学校の電話を留守番電話設定やアナウンス電話設定に切り替えることで、先生方が早く退勤でき、業務改善できると考えています。夜間の電話については、「誠に恐れ入りますが、明日午前7時半以降におかけ直し下さい。なお、お子様の命に係わる緊急の場合につきましては、市役所代表番号63-1000におかけください。」のアナウンスを入れる予定です。万一緊急の場合は、宿直→学校教育課→各校管理職に繋がるシステムにしたいと考えています。110番の連絡があった場合は学校教育課長、

119番の場合はスポーツ振興課長が対応します。警察・消防との連携のシステムについては、7月10日の校長会で、確実な内容を決定します。

【主な意見】

- ・夜間電話の連絡も保護者に周知すること。
- ・進行中の校務支援システムの効果をまとめておくこと。

②教員の「働き方改革」について（スポーツ振興課）

- ・スポーツ庁の指針に則った部活動のガイドラインを作成し、9月1日から小野市のガイドラインに則った部活動をスタートする予定にしています。原則、週のうち、平日1日と土日のどちらか1日の2日間を休養日に充て、練習時間は平日が2時間、休日は3時間程度とします。これにより教員の部活動に費やす時間や時間外勤務が軽減される予定です。
- ・9月1日から完全にガイドラインに則った活動が可能かといえば難しい部分もありますので、参加する大会の精査を進めながら、限りなくガイドラインに沿った活動に近づけていけるよう現場にお願いしています。
- ・7月2日に小野市中学校部活動ガイドライン保護者向け周知文書を配布する予定でしたが、7月10日の校長会で、夜間電話の対応や夏休みの閉庁日等、小野市の働き方改革について共通理解を図ったうえで、小野市の働き方改革として配布します。
- ・5月から部活動外部指導者として任用していた3名の方を、6月1日付で、部活動指導員として再任用しました。部活動指導員は、学校長の許可のもと、単独での指導や対外試合への引率を可能とするところが、従来の部活動外部指導者と違うところです。

③小野市の幼稚園及び幼児教育の方向性について（学校教育課）

- ・5月24日に幼稚園の全職員と協議を行い、預かり時間を30分延長することを決定しました。延長した時間に小学校へのアプローチカリキュラムを組み入れます。具体的には文字・数への興味・関心を高めること、百玉そろばんの活用をしたいと思います。現在も15時まで園庭を開放していますので、朝の30分をアプローチカリキュラムに充て、最後の30分は今までと同様に園庭開放します。9月より実施します。
- ・アプローチカリキュラムをよりよいものに構築するために、夏季休業中に、小学校教員と合同研修会を開催します。保育所にも教材等の情報をPRしたいと思います。

【協議内容】

- ・幼稚園の30分延長のカリキュラムについて、「年中児」の子供の指導はどうなりますか。

- 「年長児」の1年間で全てのひらがなを教えるのではなく、徐々に教えていきます。数の概念についても4歳児と5歳児では、理解できることが違いますのでそれぞれの教材を作ります。また、教材等については、保育園とも共有しようと思います。
- ・2園の幼稚園と14園の保育園全体で今後どうしていくかを考え、小野市が幼児教育の模範となるようにしてください。

④統一様式のホームページ運用について（学校教育課）

- ・4月から各校のホームページを統一様式にしました。アクセス数を増やすため、各校のホームページから川島隆太教授の「夢と希望をかなえる Short Seminar」を視聴できるようにしています。6月21日現在、総合視聴回数16,325回です。視聴回数は小野市のFace bookがYou Tubeの約10倍であることから、小野市のホームページから入られている方が多いと思われます。今後、各校のホームページからも見られるようになり、視聴回数は増えると思います。

【協議内容】

- ・各学校のホームページから、川島隆太教授の「夢と希望をかなえる Short Seminar」にアクセスができるようになったことを学校だより等でPRすること。
- ・ゲーム機やスマホの危険性と指導について説明をお願いします。

→前頭前野の大きな役割として、我慢すること、コミュニケーションをとるといったことがあります。動物の中で人間のみが前頭前野が発達しており、道徳的な行動ができるのですが、ゲームやLINEのやり過ぎで、前頭前野が上手く機能せず、自分の欲望を我慢できない子供たちが増えてきています。ゲームやLINEでコミュニケーションがとれなくなるのか、その関係について、川島教授に教えていただきたいと思います。なお、川島教授によりますと、スマホで調べものをして脳は働いていないそうです。
- ・子供の頃からゲームをしていた大人で特に若い年齢の人に弊害が出てきています。テレビやスマホ、ゲーム機の影響で善悪の判断がつかなくなってきたのではないかと。絶えず学校から保護者に繰り返し危険性を伝えることが重要だと思います。

→「いきいき子育て教室」でもスマホやゲームの話をして、両親にPRしているところです。

⑤各学校のブロック塀状況と対策について(教育総務課)

- ・ 6月18日早朝に起きた大阪北部の地震に伴い、各学校・園に対し、施設等の点検を求め、被害がなかったことを確認しました。その後、高槻市の小学校のブロック塀が倒れ9歳の女児が死亡したことを受け、6月19日、20日、小・中・特別支援学校、幼稚園の敷地内に設置されたブロック塀等を調査しました。
- ・ その結果、高さが2.2メートルを超えるものとして、小野中学校外周のブロック塀、小野南中学校のテニスコートの投てき板、小野東小学校の運動場の投てき板がありました。控え壁がない、またはその間隔が不十分なものとしては、河合小学校、来住小学校、旭丘中学校の各プールのブロック塀、小野中学校の外周のブロック塀がありました。
- ・ 今後の対応として、撤去、メッシュフェンスや目隠しフェンスに取り替えることを考えています。
- ・ 通学路については、春先に各学校においてPTAと共に通学路の点検をしています。その際の報告は、主に道路等のハード面や不審者等の情報でしたので、6月22日に通学路に面したブロック塀の調査をしてもらっています。
- ・ 文部科学省からの「地震が起きた際に児童生徒等が自分自身の判断で身を守ったり、迅速に避難できるよう指導をお願いします。」との通知文を各校へ送っています。

【主な意見】

- ・ 自分の身は自分で守るという教育を常日頃から啓発することが大切ではないでしょうか。人任せにせず、常に意識していれば、全く無防備よりは多少身を守れるのではないかと思います。

⑥学校施設長寿命化対策事業について(教育総務課)

- ・ 6月14日、入札により業務委託業者が(株)八州姫路営業所に決定しました。7月から9月に学校現場に出向き、老朽化状況の調査を行います。小・中・特別支援学校、幼稚園の建物、体育館等も含め82棟の調査対象について書類調査含めて現地調査し、2月末までに長寿命化計画を策定したいと考えています。

⑦堀井城跡整備事業について(いきいき社会創造課)

- ・ 地域創生交付金が6月1日に採択され、市全体の事業費1億500万円に対して、交付金は1/2の5千250万円です。本市の地域創生交付金は堀井城跡整備とまちづくり課所管の浄谷黒川丘陵地のランド整備に活用します。

- ・ 6月議会に、堀井城跡整備事業の補正予算8千500万円を上程しており、6月26日に承認される見込みです。実施設計の委託業者について、6月29日に指名審査会を行い、7月11日に入札します。

⑧ コミセンおの移転事業について（いきいき社会創造課）

- ・ 現在の有力な案である福祉総合支援センターへの移転では、5部屋を削減しても、4部屋足りません。
- ・ 仮に、福祉総合支援センターへコミセンおのを移転し、新たなコミセンおの分館を整備すると、福祉総合支援センターが「コミセンおの本館」になり、既に、小野商店街には、「コミセンおの分館 よって吉蔵」があるため、コミセンおの本館1施設（福祉総合支援センター）と、コミセンおの分館2施設（よって吉蔵+新施設）の合計3施設となります。

⑨ 学校保健体育事業の推進について（スポーツ振興課）

- ・ おのっこ産クッキングコンテストが10月27日に開催されることが決定、今年度の食材はキャベツに決まりました。
- ・ 小野市中学校総合体育大会は、ソフトボール、野球、テニスの一部が23日の雨のために順延となりましたが、全日程を終了しました。熱中症も心配されましたが、大きな怪我もなく大会を終えることができました。
- ・ 優勝旗の本数は、小野中学校が6本、旭丘中学校4本、小野南中学校2本、河合中学校が2本ということで、小規模校も頑張ってくれました。
- ・ 陸上男子1000mの8年生と9年生に、兵庫県のトップレベルの選手がおりますので、今後の活躍が期待されます。
- ・ 6月24日に行われました全日本陸上選手権において、女子5,000mで2位、男子110mハードルで3位と、小野市出身の2名が大活躍しています。

⑩ 小野ハーフマラソン2018について（スポーツ振興課）

- ・ ランナー募集状況について、19日（火）現在、ハーフ・10km・1.5km合わせて1,018人のエントリーがあります。昨年より若干上回っております。
- ・ 公募ボランティアについて、現在4人ですが、これから学生さん等の応募があると思います。
- ・ 各メディアでの大会PRについて、29日に元阪神タイガースの狩野さんが、小野市の観光スポット数ヶ所を巡られた後、ご自身のSNSで小野ハーフマラソンのPRとともに、小野市の魅力を発信していただく予定です。
- ・ 今年度の参加賞として、ハーフの方には、イケウチオーガニックと小野

ハーフマラソンのコラボタオルを、10kmの方には、今治タオルと小野ハーフマラソンのコラボタオルを、1.5kmの方には、トラッキー&バファローブルと小野ハーフマラソンのコラボクリアファイルを用意しています。TEEさんのスペシャルミニライブも是非お楽しみして下さい。

【協議内容】

- 小野ハーフマラソンの経済効果はどれくらいありますか。
→ランナーの傾向として、走られた後はすぐに帰られる方が多いです。イオンに確認しましたが、ハーフマラソン当日の売り上げは特に変わらないそうです。しかし、ルートイン小野ホテルは普段から稼働率が高いですが、マラソン大会前日は、満室と聞いております。レース後にゆぴかを利用される方も多くいらっしゃいます。

(5) 次回定例教育委員会予定

7月31日(月) 午後1時30分 205号室

(6) 閉会あいさつ 教育長